

# えん罪・JR浦和電車区事件を風化させず広範な連帯を創り出し、美世志会と共に平和な社会を創造する11.1集会 開催！

えん罪・JR浦和電車区事件を風化させず、広範な連帯を創り出し、美世志会と共に平和な社会を創造する11.1集会  
日本旅客鉄道労働組合



美世志会の7名（左から）小黒加久則さん、齋藤秀一さん、上原潤一さん、山田知さん、八ツ田富男さん、大洞慶逸さん、梁次邦夫さん

【梁次邦夫さん】沖縄で畑仕事をしているとオスプレイや戦闘機が轟音を鳴らしている、いつ戦争が起きてもおかしくないと感じている。今の現実に向かい合って真実と正義を語り合って仲間と共にたたかいていくことが重要だ。私も最後までたたかいていく決意だ【大洞慶逸さん】事件から22年、当時の決意は薄れてしまう。労働者として人生を全うしていくための一助といきたいと考えるので、当時の記録を読み上げる。戦争へ突き進んでいる今こそ現役、OB一体となっていかなければならない【八ツ田富男さん】事件から22年が経過し、私も退職してOB会となり、美世志会も7名中4名がOBとなった。2018年の組織混乱で組織としては厳しいたたかいは強いられているが、現役のみならず共に組織強化・拡大を実践していく【上原潤一さん】22年前の事件発生以降、権力からの弾圧という本質を見抜いて、議論を重ねてきた結果、これまでたたかってきた結果、今行われている不当労働行

11月1日、コソホールにおいて「えん罪・JR浦和電車区事件を風化させず広範な連帯を創り出し、美世志会と共に平和な社会を創造する11.1集会」を開催し、180名を超える仲間が結集しました。  
集会では、植草一秀様から「平和・人権・民主主義 抵抗とヒューマニズムで平和と労働者の暮らしを守る」と題してご講演をいただき、青年連絡協議会から平和研修の報告を受けました。美世志会の7名から、それぞれあいさつをいただいた後、参加者9名から、講演の感想や質問、平和の取り組みについて、えん罪・JR浦和電車区事件発生当時から今までの職場でのたたかひなどの発言をいただきました。

2002年11月1日に発生した「えん罪・JR浦和電車区事件」から22年が経過し、事件を知らない組合員も増えていきます。この22年間のたたかひの軌跡を再確認し、組合員の雇用と利益を守ることに同時に、不当にも懲戒解雇となつた美世志会と共にたたかひをしなければなりません。  
そして、来年は戦後80年を迎えます。戦争体験者も減り、戦後生まれの人口は約8割を超えました。衆議院選挙の結果が出ましたが、憲法改悪の動向は注視していかなければなりません。憲法9条を守るたたかひ、国会前19日行動などへの参加や9条連ニースの購読と購読拡大を實踐して、さらなる平和運動の構えをつく

り出していくこと、安心して暮らせる社会の実現に向けてさらなる連帯を創り出していく必要性を一致することができました。  
また、会場では八王子地本・秋山さんに対する撤布の取り組みを行い、さらなる団結・連帯の強化でたたかひを確認しました。  
「えん罪・JR浦和電車区事件」を風化させることなく、取り巻く情勢を見定め、時代認識を深め、連帯する仲間と共に団結・連帯を強化していくこと、「平和・人権・民主主義」を掲げ、安全で安心して暮らせる職場と社会をめざして奮闘していきましょう！

## 講演 「平和・人権・民主主義 抵抗とヒューマニズムで平和と労働者の暮らしを守る」 植草 一秀 様



国家権力による犯罪、国家にしかできない犯罪は戦争とえん罪であることや、ウクライナ戦争や台湾有事の構図、現在の日本の労働事情など幅広い内容でお話いただきました。そして、改めて「えん罪・JR浦和電車区事件」当時の情勢を振り返ることもできましたし、「労働者の権利は労働組合でなければ守れないんだ」と私たちに檄を送ってくださいました。

為やパワハラなども事実を広く伝え、たたかひを強化していくしかない。これからも共にたたかひましょう【齋藤秀一さん】植草さんの本にも嘘と誤魔化しが社会に蔓延していると書いてあった。権力は都合の良いように嘘や誤魔化しを行う。騙されなためにも仲間と本音で話すことが大事

## 平和研修報告 青年連絡協議会

5月に開催した「2024沖縄平和研修」と8月に開催した「2024ヒロシマ平和研修」の参加者から報告を受けました。なぜ平和の取り組みが重要なのかを現地に立つこと



「2024沖縄平和研修」  
仙台地本 高橋伸彦さん



「2024ヒロシマ平和研修」  
横浜地本 合田智之さん

で実感し、新聞投稿などの実践をしたこと、今後も平和研修や国会前19日行動などの実践を継続して行い、連帯を創り出していく決意も述べられました。

だ。共に頑張っていきたいと思います【小黒加久則さん】当時の取り調べでは10年、20年これから出さないとされた。その時自分はどう考えたのかを振り返る。国家にしかできない犯罪は戦争とえん罪。憲法9条を守らなければならぬ【山田知さん】時の権力者は無実の人を犯罪者とし、時の権力者によって戦争が起される。真実を見極められる仲間を一人でも多くつくり出してい



八王子地本・秋山さんと共に最後までたたかひを確認！

## 安全で安心して暮らせる社会をめざして、広範な連帯を職場からたたかひでつくり出していこう！

第50回衆議院選挙と参議院選選手県補欠選が10月10日公示、10月27日投票が行われ、JR東労組として衆議院には49名の候補者を推薦、参議院補選では1名の候補者の推薦し、推薦議員49名中42名と参議院補選候補者の当選を勝ち取る事ができました。  
今回の衆議院選は9月27日に自民党総裁に選出された石破首相が当初、早期の衆議院解散には消極的な姿勢を見せていたにも関わらず、首相就任前から自らの方針を180度変えて、10月9日に衆議院を解散し、行われた選挙でした。未曾有の物価高の中で、労働者の賃金格差と分断が広がる中でおこなわれる選挙であり、当然、このような問題が争点にならなければならぬと

ころ、多くのメディアで自民議員の裏金問題に端を発した「政治と金の問題」が争点として作られました。投票率は53・85%と前回の衆議院選挙の56%をさらに下回り、戦後3番目に低い投票率となり、結果的には自公政権は大きく議席を減らしました。政権与党を中心とする「改憲勢力」の議席は憲法改正発議に必要な310議席も下回りましたが、予断を許すことはできません。

政治問題について「無関心」でも「無関係」ではいられません。労働者の分断を許さず、安全で安心して暮らせる社会をめざして、推薦議員との連携を強化し、広範な連帯を職場からのたたかひでつくり出していきたいと思います。